

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	薬の管理状況に関する調査研究
研究責任者	聖隷浜松病院 薬剤部 速水 瞳
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2022年3月
対象者	2018年8月以降で聖隷浜松病院(以下、当院)に入院した患者で、薬剤師初回面談テンプレートで、退院後の薬の管理の欄に、「問題あり」あるいは「不安あり」が選択された患者さん
研究の意義・目的	<p>近年、本邦では高齢化が急激に進み、医療費の増加や就業者人口(生産年齢人口)の減少が懸念されています。2025年には、高齢者の人口が3500万人を超え、国民の3割が高齢者となることが予想されています。</p> <p>様々な疾患を抱える高齢者では、薬の管理に問題があることや処方カスケードなどの要因から、ポリファーマシーとなることがあります。ポリファーマシーにより、不要な薬剤が使用され続けることは、必要な薬剤の有効性の低下や、有害事象の発現に繋がる可能性があります。一方、必要な薬剤が処方されている場合でも、患者本人の認知機能や、家族のサポートなどの状況により、適正に薬が管理できない可能性もあります。必要な薬剤が処方されていても、アドヒアランスが不良である場合、残薬が大量に発生するだけでなく、効果不十分として、新たな薬剤が追加される可能性もあります。自宅での薬の管理が適正に行うことができない患者に対して、様々な職種がそれぞれの専門知識を活かしてサポートすることは、自宅での薬の管理を改善することに寄与すると考えられます。</p> <p>当院では、入院患者を対象に、退院後の薬の管理が可能であるかを評価しています。自宅で適正に薬が管理できない可能性がある場合には、多職種で協力して薬の管理の改善を図っています。本研究では、自宅で薬の管理が適正に行えない可能性のある患者に対して、入院中にどの様な介入・サポートが実施されているかを分析することにより、自宅での薬の管理を改善することを目的としています。</p>
研究の方法	<p>自宅で適正に薬が管理できない可能性のある患者に対する医療者の介入方法の集計と対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。</p> <p>・薬剤師初回面談記録・患者基本より「常用薬の有無・数」、「調剤上の工夫(一包化・簡易懸濁など)」、「投与経路・剤形が適正であるか」、「相互作用/重複投与/用法用量が適正であるか」、「薬の管理状況(自己管理、他者の支援、退院後の薬の管理、かかりつけ薬局)」、「お薬手帳の有無」、「入院目的」「介護度」「同居家族の有無・独居」「ケアマネジャーの介入の有無」「罹患」の調査を行います。</p>

	<p>・医療者(薬剤師、医師、看護師、その他医療技術職)による薬の管理および生活支援への支援状況(家庭環境の確認、家族へのサポートの依頼、訪問薬剤の導入、訪問看護の導入、介護保険等サービスの導入など)</p> <p>・患者基本情報:年齢、身長、体重、体表面積、BMI、性別、食事摂取量、使用薬、生活環境(独居か否か)、臨床検査値(白血球数、好中球数、血小板数、血色素量、リンパ球数、単球数、血清アルブミン値、ビリルビン値、AST値、ALT値、LDH値、ALP値、血清尿素素値、血清クレアチニン値、eGFR、CRP、血清ナトリウム値、血清カルシウム値、血清カリウム値、血清リン値、血清塩化物イオン値、血糖値、HbA1c値、総タンパク値)</p> <p>・外来での医師の診察記事内容、疑義照会およびトレーシングレポートによる薬の管理に関する保険薬局からの報告内容</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
個人情報開示に係る手続き	<p>個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。</p>
資料の閲覧について	<p>ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。</p>
問い合わせ窓口	<p>聖隷浜松病院 薬剤部 速水瞳 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日</p>